

第 15 回福島県小児循環器研究会

日 時：2011 年 11 月 12 日（土）

場 所：ホテルハマツ（福島県郡山市）

<一般演題>

1. 大動脈弓離断症術後の遠隔期合併症に stent graft を利用した hybrid 治療を施行した一例

¹⁾ 総合南東北病院 小児心臓外科, ²⁾ 小児科

小野隆志¹⁾, 森島重弘¹⁾, 中澤 誠²⁾, 工藤恵道²⁾

症例は 7 歳男児。生後 12 日, B 型 IAA に対し大動脈の端側吻合による一期的根治術を施行したが, 吻合部に仮性動脈瘤を形成破裂し, 術後 9 日にウマ心膜ロールによる再建を行い救命。心膜ロールの近・遠位側に狭窄あり 3 歳時に PTA 施行。外来フォローアップ中 3 年目の MDCT で, ロールの遠位側に仮性動脈瘤の形成を認めた。再胸骨正中切開で腹部大動脈瘤用ステントグラフトの一部 を利用した open stent graft とバイパス術の合併手術を施行した。

2. Fontan 手術後の遠隔期の諸問題

¹⁾ 福島県立医科大学附属病院 心臓血管外科学, ²⁾ 小児科

若松大樹¹⁾, 佐戸川弘之¹⁾, 横山 斉¹⁾, 桃井伸緒²⁾, 三友正紀²⁾, 青柳良倫²⁾, 細矢光亮²⁾

Fontan 型手術を施行した 37 例を対象とした。術式は, APC (A 群) が 9 例, TCPC, Lateral tunnel TCPC (LT 群) が 10 例, Extra-cardiac TCPC (Ex 群) が 18 例。遠隔死亡は 3 例 (3/36=8.3%) で, A 群の肺塞栓症 2 例と LT 群の肺出血 1 例。不整脈は A 群の 2 例に心房細動を認めた。蛋白漏出性胃腸症は Ex 群に 2 例認めた。出血性合併症は止血困難な鼻出血を 1 例, 喀血を 2 例認めた。A 群の 1 例に右房内血栓のため TCPC conversion をおこなった。全症例の Kaplan-Meier 法による術後 5, 10, 15 年の生存率は 100, 92, 81.7%。合併症回避率は 93.8, 86, 56.4%であった。Log-Rank 検定上, 各術式間での有意差は認められなかった。

3. 心肺補助装置により救命しえた乳児劇症型心筋炎の一例

¹⁾ 福島県立医科大学附属病院 小児科, ²⁾ 心臓血管外科

柏原祥曜¹⁾, 桃井伸緒¹⁾, 青柳良倫¹⁾, 三友正紀¹⁾, 細矢光亮¹⁾, 若松大樹²⁾, 黒澤博之²⁾

症例は7カ月の男児。哺乳力低下、機嫌不良を契機に近医を受診し、急性心筋炎が疑われ救急搬送された。カテコラミン及びPDEⅢ阻害薬の投与を行ったが、心機能改善せず、不整脈、血圧低下が出現したため、搬送3.5時間後に右心房脱血、上行大動脈送血で心肺補助装置を導入した。播種性血管内凝固症候群を合併し、出血が多く循環動態は安定しなかったが、第3病日のトロンボモジュリンα投与開始後より、出血量は減少し、心収縮の改善も見られ、導入後90時間で心肺補助を離脱した。

4. 学校心臓検診で発見された心房中隔欠損症（ASD）の検討

竹田総合病院 小児科

金子真理子，福田 豊，渡部真裕，澁川靖子，今村 孝，長澤克俊，藤木伴男
学校心臓二次検診でASDを見逃さないため、どのような理学検査所見を認めた際は積極的に心エコーをすべきか検討した。対象は二次検診で不完全右脚ブロックパターンを認め要精検となった20名。ASDあり13名、なし7名の2群間で理学、レントゲン、心電図所見11項目で比較検討した。2群間で有意差を認めたのは心雑音、Ⅱ音固定性分裂、左第2弓突出、肺血管拡大の4項目、ASD群を肺体血流比2以上の8例に限ると、V4陰性T波にも有意差を認めた。これら5項目いずれか1つでも有するものは、ASDの可能性が高いため心エコーを行うべきである。

5. 学校心電図検診で見つかった特発性拡張型心筋症の1例

¹⁾ (財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 小児科，²⁾ 小児心臓外科，

³⁾ 小児生涯心臓疾患研究所，⁴⁾ 東京女子医科大学循環器小児科

工藤恵道¹⁾，小野隆志²⁾，森島重弘²⁾，中澤 誠³⁾，清水美妃子⁴⁾，中西敏雄⁴⁾

【症例】16歳男児，2008年5月13歳中学校1年生時の学校心電図健診でV1S+V5R 7.6mVと左室肥大(LVH)を指摘され二次健診で総合病院循環器内科受診，心エコーで明らかな心機能の低下，左室腔の拡大，重度の僧房弁逆流を認め当科紹介となった。特発性拡張型心筋症(iDCM)の確定診断しβ遮断薬，ACE阻害薬開始した。2009年3月下旬から心不全急性増悪にて当科入院となったが内科的治療に抵抗性で2009年11月に渡航心移植した。現在は学校復帰して通常の生活を送っている。2010年7月17日に臓器移植法が改正されたが，当科では改正前に渡航心移植した症例を経験した。

<特別講演>

学校心電図検診 抽出後の取扱いと管理

医療法人社団永泉会 曙町クリニック 院長
泉田直己